

# (1)製品プラスチックの資源化に向けた近隣市の動向

|                              |          | 千葉市   |               | 木更津市                         | 佐倉市                      | 川崎市  | 市川市                       |
|------------------------------|----------|---|---------------|------------------------------|--------------------------|--|---------------------------|
| 開始日                          |          | R2.9~   | R9.12~予定      | R7.10~                       | R7.4~                    | R6.4~  | R12年度~(案)                 |
| 収集手段                         |          | 拠点型<br>(20か所)                                     | ▶ステーション型      | ステーション型                      | 拠点型<br>(7か所)             | ステーション型  | ステーション型                   |
| 排出方法                         |          | 回収ボックス  | 指定袋           | 指定袋                          | 回収ボックス                   | 透明袋  | 指定袋                       |
| 収集方法                         |          | 単独  | 混合<br>(+プラ容器) | 混合<br>(+プラ容器)                | 単独                       | 混合<br>(+プラ容器)                                      | 混合<br>(+プラ容器)             |
| 収集対象                         |          | 100%プラ※1<br>(非プラ付属なし)                             | 100%プラ        | 100%プラ※1<br>(非プラ付属なし)        | 100%プラ※1<br>(非プラ付属なし)    | 大部分がプラ※2   | 検討課題                      |
| その他の<br>プラチック<br>類の資源<br>化状況 | 容器<br>包装 | —   | ○             | ○                            | ○                        | ○  | ○                         |
|                              | PET      | 単独収集  |               | 混合収集<br>(+ビン・カン)             | 混合収集<br>(+プラ容器)          | 単独収集   | 混合収集→単独収集<br>(R8年度移行予定)   |
| 備考                           |          | ・指定袋20ℓに入る大きさ<br>※制度変更後の詳細については現時点で確認<br>できておりません |               | ・一辺の長さ50cm未満、<br>厚さ0.5cm未満まで | ・衣装ケースなどの大型<br>の製品プラも排出可 | ・外せない金属がある場<br>合も排出可<br>・大型のものは粗大ごみ<br>(切断できれば排出可) | 現在は、「燃やすごみ」<br>として製品プラを収集 |

※1)100%プラ…非プラスチックが付属しないプラスチック製のもの(例:バケツ、ハンガー、ゴミ箱、風呂いす、洗面器、食器類 など)

※2)大部分がプラ…外せない金属などが付属するが、本体の大半がプラスチック製のもの(例:フック部分が金属のハンガー、洗濯ばさみ、バインダー など)

## (2)製品プラスチックの資源化に関する今後の検討課題

|         |   |                  |
|---------|---|------------------|
| ①収集手段   | ステーション型回収が難しい、大型の製品プラスチックの収集について  | (収集運搬)<br>(中間処理) |
|         | ・大型ごみのようにステーションに直置きが可能か、拠点回収を行うか、また中間処理において切断などの処理をすることの検討<br>メリット:資源化量の増、大型ごみの減、排出者の利便性の向上/デメリット:収集運搬コストの増、中間処理コストの増 |                  |
| ②収集対象   | 取り外しができない金属などがついた製品プラスチックの収集について  | (中間処理)           |
|         | ・金属などが付属する製品プラスチックについて、収集対象に含め、中間処理で金属などを除去をすることの検討<br>メリット:資源化量の増、燃やすごみの減/デメリット:中間処理コストの増、異物混入によるベール品質低下の懸念          |                  |
| ③再資源化方法 | 製品プラ・プラ容器を一括収集し、中間処理にて混合ベール化することを想定した場合の再資源化方法について  | (再資源化)           |
|         | ・資源化ルート:容リ協ルート(32条)、大臣認定ルート(33条)の検討<br>(32条)メリット:容リ協の入札スキームにより再商品化が安定/デメリット:容リ協基準の中間処理、ベール品質の要件が厳格                    |                  |
|         | (33条)メリット:リサイクル手法を選択可、中間処理の簡素化/デメリット:業者選定、計画策定・実施、モニタリングなどの事務負担増  |                  |